

ラベンダー通信 Vol.4

編集・発行 PTA広報委員会



5月 高校 地域清掃



8月 中・高参加 寿都研修



9月 高校 体育大会



10月 サッカ一部員 地域貢献で表彰



10月 中等部2年生 乳幼児交流



11月 中等部3年生 オーストラリア語学研修

※ラベンダーの写真は東海大学札幌キャンパスに咲いたものです。

第4号 発行に向けて



東海大学付属 第四高等学校・中部部
PTA会長 米花 正浩

保護者のみな様・PTA役員の方々、日頃お子様のために、ほんとうにお疲れ様です。

毎日が忙しくゆっくり出来る日がなかなか取れない方々が多いと思いますが、このラベンダー通信を見て、学校の事、お子様の事をいつもより、多くの時間考える事になったら、いいな～、と思いました。

改めて、第4号発行、おめでとうございます。

厚生委員会

広報担当 越山 結花理

厚生委員会では「エコキャップ推進委員会」の趣旨に賛同し、ペットボトルキャップの回収と、ご家庭から出る食用廃油の回収を行いました。ペットボトルキャップは800個で一人分のポリオワクチンになります。

活動を知った校外の方からも届けられるなど、皆様のご協力に委員会一同感謝しております。また、食用廃油は持ち込みが大変ですが、バイオディーゼル燃料に精製する事が出来ますので併せてのご協力お願いいたします。回収箱は生徒用、職員用の玄関にあります。

その他、食堂の試食会を行い、価格や量などについても話し合いをしました。より良い食堂のためにいかしていきたいと思えます。



文化委員会

広報担当 横山 恵

今年度文化委員会は自然と触れ合い、普段経験することのない「芋掘り体験ツアー」を計画いたしました。

9月11日に大型バスに乗り厚真町の畑へ到着後、各自がそれぞれ掘った芋を袋に入れ、持ち帰る（お土産付き）という企画でした。何気なく普段食べている芋ですが、自分で掘って改めて農業の大変さ・苦労など、ほんの少しですが体験することができました。

その後は参加者全員で、ジンギスカン（おにぎり・ドリンク付き）の昼食会をし親睦を深めました。今回は参加者が少なく、残念ではありましたが、体験後は、農家の方のご配慮でその他の新鮮な野菜なども購入することができ、とても楽しい体験ツアーとなりました。



我ら 四高・四中

保護者も楽しく

建学祭を楽しもう！

7月に行われる学校生活の一大イベント建学祭。中等部と高校が一緒になって盛り上がる最大行事です。ステージや展示、映像作品などの各クラスの発表に笑いあり、感動あり…。またバラエティにとんだ各クラスの模擬店も熱気で一杯です。そんな懐かしい“青春時代”を肌で感じるチャンスが、保護者バザーへの参加です。そう！保護者だって、建学祭を楽しめるんです！勿論、参加の趣旨は学校へのサポートですが事前準備から始まり提供品での協力や当日の運営など、お手伝いの内容は様々、協力の仕方はそれぞれです。今年度も各コーナーで沢山の方々に活躍いただきました。

その1 物品販売バザー

地域住民の方々も楽しみにしている物品販売バザーですが、ここ数年、提供品の減少による品物不足に悩んでいます。提供品の協力依頼をお手紙などでご案内しているのですが、なかなか品物が集まらず…規模は縮小している状態です。これも長引く不景気の影響でしょうか…？

とはいえ、このような時にもお寄せいただいたご好意の品々に、当日会場は品定めする多くのお客様で賑わいました（きちんとクリーニングされた制服などは隠れた人気商品？です）。

今後に向けて、バザーの意義を保護者の方々に伝えながら早い時期からの協力の依頼を行うとともに、アイデアと発想で物品バザーをパワーアップし、繋げていきたいと思っています。

すべては子どもたちのために！バザーへの協力を今後ともよろしくお願いいたします！！



その2 盲導犬コーナー

北海道盲導犬協会の「盲導犬ミーナの募金」活動に協力し、建学祭の中で協会の方、生徒会執行部と一緒に盲導犬と歩いて募金活動を行います。また、盲導犬グッズの販売も行いその収益金を寄付したりなど、学校全体での取り組みに協力しています。

OB保護者の方々をはじめ、皆様のご協力、ご来場をお待ちしています。これからも私たちの四高、四中を応援していきます。

サポーターズ!

参加しています

その3 喫茶コーナー

“東海ケーキ”が復活!“東海ケーキ”って!?

“東海ケーキ”とは…ホットケーキミックスをたこ焼き機で焼いたまんまるケーキ。チョコのトッピングなどで可愛らしく飾られます。建学祭伝統の“東海ケーキ”を毎年楽しみにしているとの生徒さんや保護者、OBの方の声も多く、今回は喫茶コーナーに復活しました!

事前の材料の調達、会場設営に始まり、当日は朝早くからケーキを焼き…気温が高くドリンクの注文が相次いだため、氷を買いに走る場面もありました。

当日提供された手作りお菓子も合わせ喫茶はすべて完売!となり、疲れも吹き飛ばす満足感に包まれます。

OBの生徒さんたちが懐かしい“東海ケーキ”の味に学生時代をよみがえらせているのを感じられるのも喫茶コーナーをやって良かったと思う瞬間でした。



その4 食堂バザー

今年も食堂の「富士サービス」さんの全面的なご協力により、食堂バザーが開かれました。毎年好評の人気メニュー、カレーライス、うどん、そば、盛岡冷麺のヒミツは歴代OBの方々の“黄金のレシピ&マニュアル”があるおかげです!暑い時期のため、衛生面に気を使うなど大変な面もありますが、生徒からの「美味しかった〜!」の一言に疲れも吹き飛びます。毎年30~40名のお手伝いがあるので、交替しながら子どもの様子をこっそり(?)見に行ったりも出来ますよ。

お父さんの参加也大歓迎です。



こちらも恒例となりました
同窓会による
もちつき!



研究室に行ってみよう!

東海大学札幌キャンパス生物理工学部

寿都臨海実験所



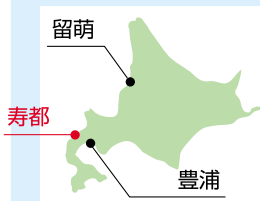
中・高・大一貫教育の一つとして企画されている寿都臨海実験所での体験学習に、今回は広報委員会の取材班が同行しました。

夏休みの1泊2日の日程は大変充実した内容でした。

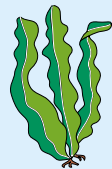
プランクトンのお話では、海水温がプランクトンに与える影響、そしてプランクトンが他の生き物や環境に与える影響を知り、私たちの食生活にも深く関わることなのだと考えさせられました。

実験所では道開発局や寿都町との共同研究がなされていて、漁協や民間企業への養殖などの技術指導もしているそうです。

ちなみに、実験所は留萌と豊浦にもあります(図参照)。研究室の業務が地域の産業の発展や、日本の水産資源の安定化、さらには世界の生態系や環境の保護をめざしている事を学び、大変勉強になりました。



寿都



部活動の裏方さん インタビュー!



2010年夏の大会 札幌地区予選にて

野球部父母会 館崎美津江さん

野球部父母会は「練習見学・試合応援・後方支援」という役割です。試合の応援には自分の子どもがレギュラーかどうかに関係なく、たくさんの方がユニフォーム姿で参加しています。また試合前日からクーラーボックスを用意して、お店に全員の分の飲み物を注文し、当日差し入れをします。監督から遠征や激励会の要望があればもちろん協力しますし、焼肉屋で開く歓迎会なども手配します。

父母会の活動は、やらなければいけないということではありません。活動に参加している父母は、つい応援してしまう、つい差し入れてしまうのです。

ついつい野球部に付き添ってしまった応援グッズは、長年の酷使でぼろぼろとなりました。でも応援すると同じ気持ちを持った大切な仲間を得ることができました。

兄弟二人が野球部で長くお世話になりましたが、下の子どもも夏の大会で引退しました。

やり遂げたという気持ちと寂しい気持ちの両方でしょうね。

卒業生インタビュー

各界で活躍している卒業生を紹介

オシキリ食品株式会社 副社長

株式会社 美水庵 社長

おしきり みつぐ
押切 貢 さん

昭和28年3月生まれ
5期生



プロフィール

東海大四高から東海大学工学部生産機械工学部を卒業。卒業後、東京で2年間のサラリーマンの生活を経てお父様の経営するオシキリ食品株式会社に入社。また、昨年ミネラルウォーターを扱う株式会社美水庵を設立。実業家として多忙な毎日を送られています。

Q その時代の四高は?

校舎は螺旋(らせん)の部分しかありませんでした。その頃は地下鉄もなくバスは旧道を通る路線のみ。当時、東区からの通学は時間がかかりました。今は南沢まで行く通学バスもあり便利ですね。当時は制服もつめえりの学生服に学生帽でした。

Q どんな四高生でしたか?

音楽が好きでプラスバンドに入り、トランペットを担当しました。しかし毎日マラソンと、正座でのマウスピースの練習と非常に厳しい毎日でした。病気になる2年になってから退部しました。文化系でも非常に厳しい時代でした。今では考えられません。先生よりも先輩の方が怖い時代でした。

★インタビューを終えて

現在、ご長男が在学されている東海大学でも後援会の役員をされています。四高にもホームカミングデーの参加や野球の応援など、常に四高生への支援をしてくれる押切さん。『I Love TOKAI』のハートを持った方にまた一人お会いできました。



イタリア居酒屋
『オステリア・クロッキオ』
オーナーシェフ
3月末 開店予定

こじま かなこ
児島 加奈子 さん

昭和52年9月生まれ
30期生



プロフィール

東海大四高時代は女子バスケットボール部で活躍。卒業後、東海大学国際文化学部へ。大学在学中に調理師の資格を取得し卒業後レストラン関係の会社で修行を積み、平成18年四高同期生の久末かおりさんとイタリア居酒屋『エルバッチャ』を開店。昨年同店を閉店し現在は開店準備に奔走中です。

Q 四高時代の思い出は?

毎日がバスケ漬けでした。頑張れたのは良き仲間にお恵まれたからでしょう。楽しい高校生活で、今も交友関係は続いています。ちなみに、お店の名前『オステリア・クロッキオ』はイタリア語で『オステリア=居酒屋、クロッキオ=仲間』です。

Q 後輩の四高のみなさんへ

興味があることには、躊躇せずチャレンジして欲しいです。チャレンジする気持ちとそこまでの道程が必ず財産になります。



★加奈子さんの印象

今のお仕事に関心を持ったきっかけをお尋ねすると、スキノで老舗の喫茶店を経営されてるご両親の背中を見てきたからかもしれませんとのこと。おもてなしの心とスポーツマンの明るさを兼ね備えた素敵な女性です。目標をもって前向きに生きる人の瞳はとても綺麗でした。



編集後記

広報委員会に関わって4年目になります。今回がVol.4ですので創刊号からになります。ひとり息子がお世話になっている東海大四高に何かのかたちでご協力出来ればとの思いと、子どもに親が関わっていただけるのも、ほんの短い間…子どもの人生の過程を見つめていたいとの想いからです。

四高のPTA活動には沢山の時間も特別な知識も必要ありません。活動を名目に学校での子ども様子を覗きに行こう…でも結構です。

次年度も沢山の保護者の皆様の参加をお待ちしております。

(広報委員会 鈴木富美枝)
編集スタッフ/広報委員一同
印刷/株式会社エーシーピー